



### 3年生「思春期の生と性」 深谷赤十字病院 看護師長 丸岡希美子 様

3月7日(月)実施

命の大切さ、変わっていく男子の身体・女子の身体、妊娠について等、専門的な立場からわかりやすく話をしてくださいました。

身体の話って、恥ずかしかったり照れくさかったりするのかな、わざわざしてしまいました。が、「何だそうなんだ。」と、話を聞いて安心した人もきっといたのではないのでしょうか。

今は、情報があふれている時代、間違っただ情報もたくさんあります。でも、今日のような専門的な立場の方からの話は正しい情報です。

3年生は、もうすぐ卒業。今日学んだことを忘れずに、自分の道をしっかりと歩いて欲しいと思います。



☆今日の性教育講演会を聞き、中学生になると、もう大人と同じような体のつくりになり、子どもも産めるようになります。もう子どもではなく、大人としての自覚を持って行動しないといけないなと思いました。

☆性についての悩みとかを相談できる電話があるということを知りました。私は、家族とか友だちに相談することが多いけれど、そういったところがあるのも大事だなと思いました。

また、自分の思ったことをすぐに行動するんじゃなくて、一度考えてから行動するようにしたいです。



☆性教育講演会を聞いて、一番印象に残ったのは、お母さんの「産みたい」という意思で産まれてきたということです。愛情をそそがないと私たちは生きられないと聞いた時、お母さんにどれだけの愛情をそそいでもらったのかと思いました。これから、愛情をそそいでもらった分、恩返しをしていきたいです。

☆思春期の心や体のことを、わかりやすく話してくれたので、自分の体のことに不安がなくなりました。自分の体のことに興味も持てました。

私は、赤ちゃんの話が印象に残りました。愛情でそこまで変わるとは思わなかったです。親や周りの人に感謝の気持ちを伝えたいと思いました。

☆今日の性教育講演会で、命の尊さ、大切さに気づくことができました。私も大人になって赤ちゃんができれば、がんばって産んで愛情をかけて育てたいです。

また、私たちの体は大人に近づいてきているけれど、まだまだ未熟なので、自分の体を大切に生きていきたいです。



☆今まであまり性について関心がなく、また、よく知りませんでした。

ですが、今回の講演会を通して、思春期の性について多くのことを学ぶとともに、性の関わりを通して命が生まれることの大切さ、命をつないでいくことのすばらしさというものがあったような気がします。

これから成長するにつれ、体も心もどんどん変わっていくと思いますが、今日学んだこと「命をつなぐ大切さ」を心に留めていきたいなと思いました。

☆この講演を聞いて、「本能を理性でコントロールする」ことが大切だとわかりました。また、自分の体を深く理解し、大切にすることが必要だということもわかりました。自分や他の人を大切にして生きていきたいです。

